

「綱領」第2回講義

戦前の日本社会と日本共産党(2) レジメ

2011年1月18日 講師 志位和夫

戦前の日本社会(その1)——絶対主義的天皇制

大日本帝国憲法——天皇の絶対的な支配権を全面的に規定

軍人勅諭と教育勅語——国民の精神生活をすみずみまで支配

戦前の日本社会(その2)——侵略戦争と植民地支配

「年表」で見る侵略戦争と植民地支配の歴史

日清・日露戦争をどう見るか——『坂の上の雲』で戦争の正体がわかるか

15年戦争——中国侵略戦争からアジア・太平洋戦争に

植民地支配の歴史をどうつかむか——21世紀の国際的到達点にたつて

天皇制が引き起こした戦争

日本共産党の不屈の闘争について

天皇制の専制支配の打破、「国民主権」の日本を——この旗を掲げた歴史的意義

反戦平和の不屈のたたかい、国民の暮らしと権利をまもるたたかい

戦前の日本共産党はどういう社会的影響力を持っていたか

ポツダム宣言——党のたたかいの正しさは歴史が証明した

東京裁判——積極的意義と限界について

戦前の不屈のたたかいの今日的な意義——アジア諸国民との心かよう友好の土台